

## 施設整備に関する課題

### 1. 施設整備検討に関する課題

#### 課題①：施設の必要面積算定

昨年度策定した「小松島市ごみ処理施設整備基本構想」（以下、「基本構想」という。）では、施設規模（38 t/日）は算出されていますが、好気性発酵乾燥方式における発酵乾燥設備の本数が想定されていないため、**施設の必要面積が明確になっていません。**

#### 課題②：好気性発酵乾燥処理における固形燃料の発熱量

好気性発酵乾燥処理における固形燃料の発熱量を担保するため、**固形燃料の発熱量を推計し、燃料としての担保性の検証が必要です。**

#### 課題③：固形燃料の引渡先

好気性発酵乾燥処理により製造される固形燃料の引渡先が確定していないため、**好気性発酵乾燥処理システムを完結するための引渡先の担保が必要です。**

### 2. 地域に貢献できる付加価値創出に対する課題

#### 課題①：エネルギー利用による付加価値の創出

好気性発酵乾燥方式では、熱・電気を直接利用することはできないため、**付加価値創出のためのエネルギー利用の検討が必要です。**

#### 課題②：コミュニケーションスペースの内容検討

基本構想で示された地域のシンボル化を図るための**コミュニケーションスペースの具体的な内容の検討が必要です。**

#### 課題③：発災時の避難所対応

災害が発生した時の**避難所等への活用方策の検討が必要です。**

#### 課題④：カーボンニュートラルを図るための付加設備・方策

カーボンニュートラルを図るための**付加設備・方策の検討が必要です。**

### 3. 施設整備検討に際して事業全体を見据えた課題

#### 課題①：粗大ごみ、空き缶・びんの間処理方法への対応

**粗大ごみの破碎・選別、空き缶・びんの選別**について、現在はヤード選別を経て資源化事業者へ引渡していますが、**新たに機械選別を導入して合理化を図るかどうかの検討が必要です。**

課題②：好気性発酵乾燥方式の施設建設・運営方式について

好気性発酵乾燥方式による施設建設及び運営方式について、公設公営によるのかDBO等のPPP手法により行うのかを検討する必要があります。

課題③：災害廃棄物に対する対応

災害廃棄物に対して、好気性発酵乾燥方式では処理に制約があることから、発災時の災害廃棄物処理方策を構築する必要があります。